

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」戸田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	1対1の支援の為スペースが十分に確保できるようパーテーションなどで環境設定を行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	5	0	現在は最低限の人数がそろっている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0	5	階段や段差があるので、声掛けなどをして安全に配慮している。	掲示物や飾り付けが多くなりすぎてしまうと、視点の方向が定まらない場合もあるため改善をする必要がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	毎日清掃を行い環境整備に努め、必要に応じてパーテーションを置くなどの設定を行っている。	お子様や場面に応じて、整理整頓を行い環境整備に努めていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	できるだけ話し合いの場を設けて、次の支援に活かしている。	記録や支援で話し合う時間が確保できないときは、ツールを用い情報共有は行うように継続して努めていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者等が話しやすいような環境づくりに努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2		年に一度実施しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	現在は利用者、社内、財団法人発達支援研究所の3者評価となっています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	内部、外部共に研修の機会は設けられています。	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	6ヶ月に一回は保護者に聞き取りを行うとともに指導員からも意見を聞き作成を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	事業所共通のツールを活用している。	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1	集団生活に馴染めるよう、保護者からの情報を基に支援計画を作成しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	支援計画に沿って実施しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	共通理解が必要なこともあるため、随時相談しながら行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	全体で話し合いながら行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3	2	基本的には1対1での実施だが、お子様の状況に応じて集団も行っている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	朝礼を行い、確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	その日に行えない場合には、次の支援までに行うように留意して情報共有を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	毎回、支援記録の記載を行い情報共有をして、改善につなげている。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	最低でも半年に一回行っている。	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	事前に情報把握に努め、できるだけふさわしい人物が対応するようにしている。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3		
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	医療的ケアが必要なお子様が通所していない。	該当児童がおらず未実施
㉔		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	医療的ケアが必要なお子様が通所していない。	該当児童がおらず未実施

	⑳	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	保護者からの要望がある場合、連携を行っていきます。	
	㉑	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	保護者からの要望がある場合、連携を行っていきます。	
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	5	現在までのところ機会がないが、今後情報共有する機会を設けていく。	
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5	事業所以外での交流が現在のところない。	
	㉔	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	年に一度行われる地域での協議会に参加している。	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	毎回のF B時や相談のあった際に、共通理解できるよう努めている。	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3	フィードバック時、都度質問に対し必要な助言を行っている。	
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時や変更のあった際、適宜行っている。	
	㉘	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1	集団生活に馴染めるよう、保護者からの情報を基に支援計画を作成しています。作成後は、説明して同意を得ています。	
	㉙	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	毎回のF B時や、随時相談があった際に、周りの状況に応じて配慮しながらで対応を行っている。	
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	現在実施できていないが、今後取り組めるよう動いていく。	
	㉛	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	教室内で窓口を設定したり、苦情があった場合は丁寧に対応できるように努めている。	
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	教室内にチラシを掲示したり、ラインなどのツールを活用してお知らせしている。	
	㉝	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	鍵のかかかるとロッカーにしまい、対応している。。	

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	そのお子様に合わせた伝え方やニーズの確認を行っている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	現在、地域住民の参加はおこなっていない。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	マニュアルは策定しているが、保護者への周知は行っていない。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	面談や契約時に確認しています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5	現在、食事提供を行っていない。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	ヒヤリハット用のファイルを作成し、職員全員で共有している。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	マニュアルを策定し、研修を実施しています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	契約時に説明を行っているが、支援計画書に記載はしていないため、今後は支援計画書にも記載していく。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」戸田校 保護者等数（児童数）：13名 回収数：11名 割合：84.6%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	2	1	0	少し手狭な気がします。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	3	1	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	2	0	0	人が多いと密になっている感じがします。子どもの作品や季節ごとに色々と飾りつけされていて、子どもも楽しみながら支援が受けられる空間です。	できる限り、密にならないよう入れ替え時など留意させていただきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	5		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	5	1	0	時々飽きてしまうことがある。プログラムを慣れるまで続けてくれ要望すると変えてくれる。子どものペースに合わせてゆっくりでも確実な支援を続けてくれる。	F Bも踏まえて相談させていただきながら、プログラムに飽きることがないように対応を留意させていただきます。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	3	8		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	4	1	6		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	0	0	0	子どものことをよく見てくれ、ちょっとした成長も感じ取ってくれる。和やかな雰囲気ですぐ話しやすく共通理解できていると思う。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1	0	0	支援終了後に話す機会が毎回あり、何かあれば相談できる環境が整っている。子どもと一緒にだったり仕事関係で中々聞く時間が取れない。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	4	7		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1	0	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	0	0	0	他のお子様の支援内容が見えたり聞こえたりします。	
非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	0	0	3		

の 対 応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	1	0	9		
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	1	0	表情も明るくなり、楽しく通わせて頂いています。	
満 足 度	㉓	事業所の支援に満足しているか	10	1	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。